

「おかやまマラソン」(10日)の実行委員会は6日、フルマラソンの総合男女各1〜3位に贈る備前焼メダルが完成したと発表した。県重要無形文化財保持者・吉本正さん(備前市)が登り窯で焼成し、重厚に仕上げた。



総合男女3位までに贈られる備前焼メダル

重厚 備前焼メダル 総合男女1〜3位用

メダルは、県立大の西田麻希子准教授が漢字の「岡」をモチーフにデザインした台形状(縦9・2^寸、横7・2^寸、厚さ1・8^寸)。2015年の初回大会から制作してきた吉本さんは「集大成のつもりで作陶した。今回は備前焼独特の渋い風合いを出せた」と話す。

裏面には大会シンボルマークや開催日を刻印。メダルをつるすリボンには

県重文
保持者 吉本さん制作

倉敷市特産の真田紐（おひだり）を用い、金、銀、銅色の糸を織り込んで順位を表現した。

フルマラソン完走者には第5回大会の節目を祝い、特産の桃をかたどった備前焼メダル(縦5・8^寸、横6・6^寸、厚さ0・8^寸)を贈る。

実行委は「陶器のメダルは全国的にも珍しく注目度が高い。ランナーは上位を目指して奮闘してほしい」としている。(松島健)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。